

# 雪辱逃すも晴れ晴れ

## 焦点

選手を積極的に入れ替え、多くに好機を与える平良徳彦監督の「全員ハンド」は選手の長所を生かし、駆け上がった。昨年1点差で涙をのんだ頂上決戦。13年ぶりの優勝を狙ったが、高身長のアシカの壁にはね返され、雪辱はかなわなかった。それでも「準備は監督と

# 女子貫いた「全員ハンド」

コートのおかげ。悔いはない」と言い切る選手たち。晴れ晴れとした笑顔が広がっていた。

決勝前半は、3-3守備で相手エースを抑える沖縄、対して高さを生かして構える愛知が互いの堅守を發揮した。まれに見る4-1

5のロースコア。コート陣返すとGK比嘉楓(美東)が「集中力が切れた方が負ける」とげきを飛ばす言葉通りの競り合いだった。

変えかけたが、要所でシュートミスに泣き、及ばなかった。悔しさに涙もこぼれるが上間と西田ゆいは「決勝で全てを出し切った。やりきったので悔いはない」とさっぱりした表情。一方で2年の名嘉陽菜は「今年のメインターンパーもいけると言われていたのにまた準備は悔しい。来年は全国制覇します」と言葉を振り絞った。(嘉陽拓也)



女子決勝 沖縄一愛知 追う展開の中でも臨機応変なセットプレーで守備の間を抜けてシュートを決める沖縄の名嘉陽菜=27日、埼玉県さいたま市のサイデン化学アリーナ (嘉陽拓也撮影)

# 男子県選抜頂点、女子準V

## JOC中学ハンド

中学ハンドボールの第27回JOCジュニアオリンピックカップ大会の最終日は27日、埼玉県さいたま市のサイデン化学アリーナで男女の決勝を行い、ともに頂上を狙った沖縄選抜は、男子が延長で富

山選抜を28-27で退け、7年ぶり7度目の優勝を勝ち取った。春の全国中学校選手権と夏の全国中学校体育大会は神森が制し、県勢での初の年内全国3冠を飾った。女子は愛知選抜に後半突き放され10-14で惜敗。男女アベック優勝はならなかった。女子は昨年の決勝での1点差敗退に続き、今回もあと一歩及ばなかった。個人賞では男子の高西颯斗(神森)が最優秀選手賞を獲得した。(一面に関連)

### 【男子】

#### ▽決勝

沖縄選抜	28	延	14	9
	3	1	12	11
27	富山選抜			
2	3	1	3	1

#### ▽決勝

視野外からのクロスプレーに出足が遅れ、ミドルシュートなどを許す。攻撃はシュート精度が悪く、やはりドられる展開に。後半に横一線守備に戻すと素早いピストンで富山の足を止め、速攻も生まれ出し攻撃

も勢い付いた。GK高西颯斗の好セーブでつながった延長戦では、7人攻撃の慎重なセットプレーで点を積み重ね、富山を1点差で振り切った。(嘉陽拓也)

#### 愛知選抜 14

【評】前半は互いに堅い守備を發揮しつつ、攻撃はやや単発になったこともあり、4-5とロースコアな展開となった。しかし、愛

が攻めあぐね始めた後半は、逆速攻を許し、流れが相手に傾き始めた。沖縄は相手エースを抑えるマンツーマン守備で打開を図ったが、流れは変わらず。徐々に引き離された。(嘉陽拓也)

(嘉陽拓也)